



# 第10期 SCP(学生キャンパス副学長)が決定

薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部、リハビリテーション科学部から各1名が選挙により、第10期Student Campus President(通称:SCP)に選出され、浅香正博学長からユニフォーム(ブレザー)の授与とともに、正式にSCPとして任命されました。

SCPIは、より良い大学づくりのために学生代表が教職員とともに各種プロジェクトの企画・立案を行い実施する、全国的にも珍しい北海道医療大学独自の制度です。SCPは、オープンキャンパスなどの大学行事や学生代表としての学内会議参加、外部機関研修会での講演、雑誌取材対応やイベント参加など学内外で北海道医療大学の顔としての活動も行っています。

本学では、各SCPの企画を実現するため、活動費やキャンパス内に設置されたSCP室の提供、教職員や卒業生の協力などの支援体制も充実させています。全国から注目を集めるSCPの多岐にわたる活動は、随時、SCPのホームページで報告しています。



SCPホームページ <http://scp.hoku-iryu-u.ac.jp/>

## 第10期 SCPよりご挨拶



薬学部  
安田 彩夏

私は春に入学したばかりの1年生ですが、各学部のSCPと協力し、皆さんの意見・要望を集め、実現できるようにしていきます。対外活動においても北海道医療大学の特徴をアピールし、良好なコミュニケーションがはかれるように頑張ります。また、個人としても地域や他大学の方々との関わりを通じて人として成長できる1年にしたいと考えています。



看護福祉学部  
石黒 和彦

SCPはよりよい大学づくりをめざすために作られた制度です。私たち学生代表が教職員とともにプロジェクトの企画・立案を行い、実施します。これまでに、食堂の改善や図書館の充実化などが行われてきました。私は学校生活を充実させるため、みなさんが意見や要望を出しやすいシステムを作ります。なぜなら、学校生活の主役はみなさんだからです。在学生一人一人の意見を大切にすることで、みなさんが学校で生き生きと生活ができるようになることが、私の目標です。



リハビリテーション科学部  
田中 優輝

SCPは、学生の大学運営の参画を促すことで、より良い大学づくりをめざす取組です。しかし、具体的にSCPが何を行っているか、みなさんはご存知でしょうか。私は、SCPのお話を頂くまで、全くと言っていいほど活動内容を把握していませんでした。SCPがより良い大学づくりをするためのプロジェクトを立ち上げるには、学生のさまざまな意見を取り入れることが重要です。しかし、SCPにどう意見を伝えればいいのか分からないのが現状です。



歯学部  
橋谷 怜奈

大学生活において、皆さんが「もっとこうだったらいいのにな」と感じた事や意見を基に、より過ごしやすい大学を作っていきたいと思っています。これからの活動に、歯学部をはじめとする縦と横の学年の繋がりが、また、医療系総合大学だからこそ可能である他学部との交流・連携を大切にしていきたいです。



心理科学部  
石田 千典

大学での不便を少しでも減らすことによって、より充実した学生生活を過ごせるようにしていきたいと考えております。学生生活の中で大学に対して不便を感じることや、改善して欲しいと思うことは多くの学生にあることでしょう。その学生の不満を大学に届け、改善していくこそSCPの役割であり、義務であると考えています。そのために、皆さんの意見や要望が確実にSCPに届くよう、そして、届いた要望には必ず何かの回答を出せるよう一生懸命取り組んでいきたいです。

そこで私は、学生が自由に意見を投稿できるシステムを確立したいと考えています。今まで漠然と、「学生の声に耳を傾ける」、などと言われていたものを「学生の声をSCPの議題にする」形に変えていきたいと思っています。

## SCP主催 チャリティ・キャンドル・ナイトを開催

2017年12月18日(月)、第10期SCP主催によりチャリティ・キャンドル・ナイトを本学20周年記念会館2階において開催しました。会場内はクリスマスツリーとともに500個超のLEDキャンドルに明かりが灯され、窓外の泡雪と相まって幻想的な雰囲気が広がりました。

また、学友会団体の協力の下、カフェクラブのドリンク・お菓子の提供、ピアノ同好会、弦楽部、アカペラ部によるミニ演奏会などのチャリティ企画も行い、寄せられた募金は、後日、当別町社会福祉協議会に全額寄付しました。

